

# おくちゃん・たより

第15号 平成26年 9月25日発行

発行者:奥町連区地域づくり協議会・広報部会

## 奥町民運動会

主催:奥公民館

奥町民運動会を開催するにあたり、すでに数ヶ月前より各方面の団体の協力を得ながら準備を進めてきました。特に今回は運動会開催50回目となる記念すべき大会となりますので、より一層充実した内容で参加者に楽しんで頂きたいと考えております。ひとりでも多くの町民の皆さんの参加で運動会を盛り上げましょう。

開催日時:平成26年10月5日(日) 午前8時50分より開会式

予備日:平成26年10月12日(日)

開催場所:奥中学校・屋外運動場



## 祝・50回記念町民運動会

今年開催の奥町民運動会は第50回大会となり、昭和39年に開催された東京オリンピックからも50年、新幹線の開業からも50年となり、まさに節目の記念大会と言えます。町民運動会は、全参加町内が一堂に会して行う行事としては奥町で最も大きな企画であり、各町内でのコミュニケーションを図る大切な機会だと思います。そこで、地域づくり協議会としても町民運動会を盛り上げる為に、記念品を事前に配布してアピールをし、運動会へ積極的に参加して頂けるように応援をすることとしました。全町民が参加して楽しめる運動会となるようにバックアップをしていきたいと思っております。



## 流しソーメン大会

学校外活動事業 主催:奥中PTA・かつおクラブ

8月23日(土)奥中学校にて、今年で8回目となる「流しソーメン大会」が開催されました。手作りで加工した竹を使った本格的な流しソーメンを味わう事ができ、毎年多くの子供達が参加しています。ソーメン以外に流される果物やお菓子が子供達のワクワク感をそそり、夏休み最後のお楽しみ会となっています。今回は女子中学生のボランティアスタッフとしての参加もあり、子供達に優しいお姉さんの存在は、とても頼りになりました。



## いちのみや出前一聴

主催：地域づくり協議会・安全安心をつくる会

9月6日(土)午後1時30分より「いちのみや出前一聴」の講座を開催しました。今回の講座は「地震への備え」と題して、一宮市総務部行政課危機管理室室長・皆元洋司様に講師をお願いをし、地震災害に備える実践的な方法を学びました。会場には100名近い参加があり、皆さんから水害や液状化に関する質問もあり、同席頂いた専門部署の担当者からも説明をいただきました。最近多く発生する災害に、皆さんの意識の高さがうかがえます。



## 井戸水・調査協力をお願い

安全安心をつくる会

地域づくり協議会の安全安心をつくる会では、昨年度より災害時の水の確保について考えてきました。もし災害が起きた時に必要な水をどうするか、特に飲料水の確保が重要課題とされます。地震で道路が通行不能になれば、市の給水車や救助ヘリも直ぐには来てくれません。そこで、皆様のご家庭で井戸水があり、利用をさせて頂けるならば災害時の飲料水等として使用をお願いしたいと思います。その為に今回、井水調査に関して町会長会の協力を頂いてお願いを致しました。災害時、行政からの援助を待つだけでなく、「自助・共助」の精神で自分達の町は自分達で守ろうでは有りませんか。

## ふるさと学級好評開催中

主催：社会福祉協議会奥町支会

7月23日(水)から始まった「奥ふるさと学級」が好評開催中です。奥町在住の60歳以上の方を対象とした全11回の講座で、11月12日(水)最後の回には皆さんお楽しみの社会見学が用意されています。講座の内容は芸術・防災・健康等の多方面にわたり、毎回飽きる事がない内容となっております。今年の募集はすでに終了しておりますが、毎年開催されますので、来年もお忘れ無く応募して下さい。



第3回「笑ってところをリフレッシュ」

## 町内探訪・前二南

平成4年4月、前二自治会が新4町内(前二:163世帯、前二宮前:161世帯、前二東:197世帯、前二南:158世帯)に分割されて22年が経過しました。前二南町内会はその後262世帯となり、大きく発展し町内活動を展開しております。諸先輩の方々と住民の皆様のご協力により、快適な居住環境・安心安全を第一に考え、ゴミ集積場所を可燃:不燃12カ所と可燃のみ4カ所に設置、防犯防災関連では55基の防犯灯と消火栓1カ所、そして消火器を21カ所に設置しました。平成24年4月には「前二南・前二宮前防犯パトロール隊」がスタートし、前二南地区は11名のボランティアで巡回をしております。「私も参加して協力したい」という人、大歓迎ですのでぜひご連絡をお願いします。今後は町内会運営および活動が変化していくと思われます。それは、行政の予算削減等により、こまやかな地域問題の解決まで手がまわらなくなり、地域での子供や独り暮らし高齢者の安心できる生活や、災害時の安全をどう確保するかといった問題解決を地域の役割として期待されるようになるのではと思います。